務00015年(令和13年3月末まで保存)刑企第20号令和7年5月30日

各 所 属 長 殿

青森県警察本部長

警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する規則等の一部を改正する規 則の制定について

この度、警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する規則等の一部を改正する規則が別紙のとおり制定された。

改正の理由及び内容については下記のとおりであるから、所属職員に周知徹底し、 事務処理上誤りのないようにされたい。

記

1 改正の理由及び内容

令和4年6月17日に公布された刑法等の一部を改正する法律(令和4年法律第67号)により、懲役刑と禁錮刑の両刑を一元化した「拘禁刑」が創設され、本年6月1日から施行されることに伴い、現行の青森県公安委員会規則における「懲役」「禁錮」の表記が「拘禁刑」に変更されたもの。

- 2 改正を要する青森県公安委員会規則
  - (1) 警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する規則 (昭和60年10月青森県公安委員会規則第6号)
  - (2) 青森県道路交通規則 (平成10年9月青森県公安委員会規則第7号)
  - (3) 委託講習等の実施に関する規則 (平成23年12月青森県公安委員会規則第9号)
- 3 施行期日 令和7年6月1日

担当:刑事部刑事企画課

警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する規則等の一部を改正する規則を

ここに公布する。

令和七年五月三十日

青森県公安委員会委員長 横町 俊明

## 青森県公安委員会規則第十号

警察官  $\mathcal{O}$ 職務に協力援助した者の災害給付に関する規則等の一部を改正する規

則

(警察官の職務に協力援助した者の 災害給 付に関 する規 則  $\mathcal{O}$ 部改正)

第一条 警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する規則 (昭和六十年十月青

森県公安委員会規則第六号) の一部を次  $\mathcal{O}$ ように改正する。

次 の表により、 改正前欄に掲げる規定の 傍線を付 した部分をこれに対応する改正後

欄に掲げる規定の傍線を付した部分の ように改める。

等の秩序維持に関する法律(昭和	秩序維持に関する法律(昭和二十
場に留置されている期間又は法廷	留置されている期間又は法廷等の
労役場留置の言渡しを受けて労役	場留置の言渡しを受けて労役場に
刑事施設に拘置されている期間、	施設に拘置されている期間、労役
いる期間、死刑の言渡しを受けて	期間、死刑の言渡しを受けて刑事
刑者として留置施設に留置されて	として留置施設に留置されている
されている期間若しくは被留置受	ている期間若しくは被留置受刑者
ける当該少年院を含む。)に拘置	当該少年院を含む。)に拘置され
院において刑を執行する場合にお	おいて刑を執行する場合における
五十六条第3項の規定により少年	六条第3項の規定により少年院に
和二十三年法律第百六十八号)第	十三年法律第百六十八号)第五十
執行のため刑事施設(少年法(昭	のため刑事施設(少年法(昭和二
1) 懲役、禁錮若しくは拘留の刑の	① 拘禁刑若しくは拘留の刑の執行
	号に掲げる期間とする。
	する本部長が定める期間は、次の各
第四条の三 [同上]	第四条の三 令第十三条の規定を準用
(休業給付を行わない期間)	(休業給付を行わない期間)
改正前	改正後

第二 備 次 次 条 青 考  $\mathcal{O}$ (2) $\mathcal{O}$ 森 受 表 ょ 置 施 に た  $\mathcal{O}$ 七 青 県 設 留 規 に う さ け  $\Diamond$ 年 表 道 置 監 定 に 森 法 ょ 中 略 れ 又 る 改 県 路 は す 者 置 律 に  $\mathcal{O}$ ŋ 7 正 道 交 留 場 ょ 第 11 る を す 路 通 置 場 刑 \_ 改 る る 監 規 期 施 合 事 監 百 正 る 交 前 通 間 設 12 施 置 八 則 置  $\mathcal{O}$ 規 設 + 欄 記 を お  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 載 含 裁 則 又 裁 六 に け 掲 뭉 部 む は 判 判 は る  $\overline{\phantom{a}}$ げ 平 0 当 留 改 注  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 記 該 置 執 成 正 執 る 規 で に 刑 施 行 行 \_ 留 定 年 事 設 あ を  $\mathcal{O}$ 九 る  $\mathcal{O}$ 傍 月 線 青 (2)森 を 刑 行 施 行 に 付 県 条 設 留 事 を  $\mathcal{O}$ 公 同 置 施 受 た 七 に  $\mathcal{O}$ た 安 設 規 年 上 さ 留 け  $\Diamond$ 委 部 置 監 定 れ 又 る 分 員 者 7 は す 置 に 会 を ょ 留 る を 場 第 11 規 場 置 刑 る る れ 則 期 施 合 事 監 監 百 に 第 間 設 施 置 置 八 に 順 七 お 設 + を  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 次 뭉 含 裁 裁 け 又 六 対 む は 判 判 뭉 る 応  $\mathcal{O}$ 当 留  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ す 該 置 執 執 る 部 を

正 後 欄 に 撂 げ る 規 定  $\mathcal{O}$ 傍 線 を 付 た 部 分  $\mathcal{O}$ ょ う に 改  $\Diamond$ る 0

別 別記様式第 47 号 (第 46 条関係) 記 様 駐車監視員資格者講習受講申込書 式 年 月 日 第 青森瓜小安委員会 酚 兀 改 (申込者の氏名) 9% 七 都道府県 電話 ( (自宅・携帯) (ふりがな) 뭉 正 生 年 月 日 日生 写真  $\overline{\phantom{a}}$ (ME 3. 0 cm 第 他の連絡先 電話( ×横2.4 cm) 受講希望 後 兀 ※受講年月日 + 日まで Л (修了考查) 日) ※ 修了考査の結果 合,否 六 ※受講場所 ※受證券号 記載要領 1 寮印欄には、記載しないこと。 2 写真は、申込み前6月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背 関 景の縦の長さ 3.0 センチメートル、横の長さ 2.4 センチメートルの ものとする。 係 注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。 别 別記様式第 47 号(第 46 条関係) 記 様 駐車監視員資格者讚習受講申込書 式 年 月 第 青森県公安委員会 殿 兀 (申込者の氏名) 改 + 396 七 電話 (自宅・携帯) 뭉 正 2. 32. 350 動務先その 第 (WE 3, 0 cm 他の連絡先 電話( ×横 2.4 cm) 受講希望 兀 前 日から 年 月 日まで (修了考查) 六 ※ 修了考査の結果 合・否 施 ※受講場所 条 ※受講番号 記載要領 1 要印欄には、記載しないこと。 関 2 写真は、申込み前6月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無宵 景の縦の長さ3.0センチメートル、横の長さ2.4センチメートルの ものとする。 注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

正 次  $\mathcal{O}$ 表 に ょ 1) 改 TE. 前 に 掲 げ る 規 定  $\mathcal{O}$ 傍 線 を 付 た 部

分

を

n

対

る

(380) \$41 :85 私は、道路交通法第51条の13第1項第2号イからハまでに掲げる次のいずれに も該当しない者であることを誓約します 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者 - 地本ア駅時間のの広にエスリス保権を得ない者 <u>物禁用</u>に処せられ、又は道路交通法第119条の2の2第2項の罪を 犯して刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなっ た日から起算して2年を経過しない者 集団的に、又は常習的に確認事務の委託の手続等に関する規則第3条各号 に掲げる罪のいすれかに当たる行為を行うおそれがあると認めるに足りる相 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第12条若しくは第12条の 6の規定による命令又は同法第12条の4第2項の規定による指示を受けた者 であって、当該命令又は指示を受けた日から起草して2年を経過しない者 アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者 ・ カルコール、麻条、入麻、めへん又は見歴用の甲毒者 ・ 精神機能の障害により確認事務を適正に行うに当たって必要な認知、判断 及び意思維通を適切に行うことができない者 ・ 駐車監視員資格者証の返納を命ぜられ、その返納の日から起算して2年を 毎 月 日 住 所 氏 名

					*	受	理	4	月	H		华	月
						受	J	Œ.	番	号			
					*	交	付	4	月	B		年	月
					*	資	格	者	áic a	号			
			15	主車艦	视員資	ŧ格	者証	交化	中部	1 185			
												奪	月
作波	県公安委員	슾	Ηž										
								( db	出来。	の氏々	6)		
_								2.11	1111-111				
	本	# =				_						507 1	首府県
	住	PF										册 3	且所與
ф	III.		88 3	(	)		_				(自字	- 携4	(F)
ľ	(ふりがな		. 161						Τ	Т	1,57	291	
請	rs.	//							性別		· 女		
	氏	名											华 真
者	生 年 月	H					年		月		日生		€3. 0cm
	勤務先そ	0										×#	2. 4cm
	他の連絡	先	25	(	)		_						
йE	番	号											
明	交付年月	-			_	_							
-	父刊平月	п			4	5		月		H			
186	口修工	NO BELS	k v H s	0 str 18s									
200						扶	(83	₹n 4	2年対	: 律第	81号)	\$ 7 S	<b>5年5</b> 1
付	掲げる	事項	(外国)	しにあ	ってに	t,	同法	第3	0条0	4510	規定す	る国制	音等);
書	載され:	たもの	こに限る	5.).									
燗	□ 診断:	JS:											
	□ 誓約:	JS:											
	□ 写真	2枚	(うち1	1 枚貼	付)								
	事項 1	% EII #	見には、	記載	しなり	いこ	٤.						
載													
: 載	2	FAG	t、申音 とさ3.0										

## 兀 駐車監視員資格者証の返納を命ぜられ、その返納の日から起算して2年を経 九 条 関 係 别 記

私は、道路交通法第51条の13第1項第2号イからハまでに掲げる次のいずれに も該当しない者であることを誓約します。 ・ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者 ・ 禁羅以上の刑に処せられ、又は道路交通法第119条の2の2第2項の罪を 犯して刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなっ た日から起算して2年を経過しない者 ・ 集団的に、又け常習的に確認事務の委託の手続等に関する規則第3条各号 に掲げる罪のいずれかに当たる行為を行うおそれがあると認めるに足りる相 当な理由がある者 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第12条若しくは第12条の 6の規定による命令又は同法第12条の4第2項の規定による指示を受けた者 であって、当該命令又は指示を受けた日から起算して2年を経過しない者 アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者 精神機能の障害により確認事務を適正に行うに当たって必要な認知、判断 及び意思疎通を適切に行うことができない者・ 駐車監視員資格者証の返納を命ぜられ、その返納の日から起算して2年を 青森県公安委員会 殿 年 月 日 住 所 压 名

				× 5	理年	月	В	年	月	Е
				* 5			号			
				* 3	そ 付 年	月	В	华	月	E
				* j	格者	臣 番	号			
			駐車監	視員資格	各者証交付	申請	書			
								年	Я	E
ds ob	県公安委(		95							
11.34	M 2030 W 5	d zz	PIX							
					(申)	情者の	)氏名)			
Г	本	箱								
			<b>∓</b> −					都认	直府県	
ф	住	Br								
171	(ふりがた	•)	電話(	,		_	CHY	- 1987	Dr.)	-
請						性	男・女			
	氏	名				別			华 英	
者	生 年 月	B			年	月	日生	(i	863. 0cm	
	勤務先そ	0						×植	(2.4cm)	
	他の連絡	先	電 話 (	1	_					
24	番									
明	illi .	号								
書	交付年月	H		年	月		H			
_										
			月書又は認定書							
			9写し(住民基							
付書			( (外国人にあっのに限る。)。	0712,	回鉄頭30	深の	45に規定7	の国制	音等人力	· ac
	□ 診断		, U/L (R O . ) .							
351	口整約									
			と(うち1枚貼	(d.)						
40			D欄には、記載		. J					
			<ul><li>は、申請前6</li></ul>			50.60	7E 766	三分』	br - 500 c0	1 10

## 様 式 五 九

係

别

記

様

式

第

五

号

第

	(3)	()		
	往 意	#	項	
駐車監視員資格者講習 第1項第2号に掲げるガ 交付を受けることができ	とのいずれかにま			
・ 18 歳未満の者	\$ 670,			
<ul><li>破産手続関始の記</li></ul>	央定を受けて復	権を得ない	者	
<ul> <li>禁錮以上の刑に対 犯して刑に処せられた日から起算して2</li> </ul>	1、その執行をお	きわり、又は		
<ul> <li>集団的に、又は常 に掲げる罪のいずれ 当な理由がある者</li> </ul>				
<ul> <li>暴力団員による不 6の規定による命令 であって、当該命令</li> </ul>	又は同法第 12	条の4第2月	頁の規定による	指示を受けた者
<ul><li>アルコール、麻事</li></ul>	裏、大麻、あへ.	ん又は覚醒	削の中毒者	
<ul><li>精神機能の障害に及び意思疎通を適切</li></ul>			)に当たって必	要な認知、判断
<ul> <li>駐車監視員資格者 過しない者</li> </ul>	証の返納を命せ	られ、そのi	医納の日から起	算して2年を経
lx .				1

駐車監視員資格者講習を受講し、その課程を修了しても道路交通法第51条の13

<u>枸養刑</u>に処せられ、又は道路交通法第119条の2の4第2項の罪を犯して 刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日か

集団的に、又は常習的に確認事務の委託の手続等に関する規則第3条各号 に掲げる罪のいずれかに当たる行為を行うおそれがあると認めるに足りる相

 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第12条若しくは第12条の 6の規定による命令又は同法第12条の4第2項の規定による指示を受けた者 であって、当該命令又は指示を受けた日から起算して2年を経過しないもの

精神機能の障害により確認事務を適正に行うに当たって必要な認知、判断

アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者

及び意思疎通を適切に行うことができない者

第1項第2号に掲げる次のいずれかに該当する場合には、駐車監視員資格者証の

交付を受けることができません。

ら起算して2年を経過しない者

破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者

18歳未満の者

当な理由がある者

 18歳未満の表 当な理由がある者 青森県公安委員会 殿

委 託 講 習 等  $\mathcal{O}$ 実 施 に 関 す る 規 則  $\mathcal{O}$ \_\_\_ 部 改 正

第 九 号  $\mathcal{O}$ 部 を  $\mathcal{O}$ ょ 12 改 正 す る

次

第三条

委

託

講

習

等

 $\mathcal{O}$ 

実

施

に

関

す

る

規

則

亚

成

十三

月

青

森

県

公

安 委

員

会 規

後 欄 掲 げ る 規 定  $\mathcal{O}$ 傍 線 を た 部 分  $\mathcal{O}$ ょ う 改 8

日から起算して二年を		た日から起算して二年	
けることがなくなった		受けることがなくなっ	
り、又はその執行を受		わり、又はその執行を	
られ、その執行を終わ		せられ、その執行を終	
し禁錮以上の刑に処せ		し <mark>拘禁刑</mark> 以上の刑に処	
する罪を除く。)を犯		する罪を除く。)を犯	
規定する罪(ロに規定		規定する罪(ロに規定	
六条までの罪又は法に		六条までの罪又は法に	
十六号)第二条から第		十六号)第二条から第	
平成二十五年法律第八		平成二十五年法律第八	
の処罰に関する法律		の処罰に関する法律(	
人を死傷させる行為等		人を死傷させる行為等	
し自動車の運転により		し自動車の運転により	
ハ 自動車等の運転に関		ハ 自動車等の運転に関	
[イ・ロ 同上]		[イ・ロ 略]	
ない者		ない者	
三 次のいずれにも該当し		三 次のいずれにも該当し	
[一・二 同上]		[一•二 略]	
する者	者講習	者講習する者	
次の各号のいずれにも該当	停止処分	停止処分 次の各号のいずれにも該当	
[旧出]	[同十]	[略] [略]	
	区分	区分	
講習指導員等の要件	講習等の	講習等の 講習指導員等の要件	
(第四条関係)	別表第二(	別表第二(第四条関係)	1
改正前		改 正 後	
			٦

[恒十]	[同上]	[略]	略
ない者		いない者	
して三年を経過してい		算して三年を経過して	
なくなった日から起算		がなくなった日から起	
の執行を受けることが		その執行を受けること	
執行を終わり、又はそ		の執行を終わり、又は	
の刑に処せられ、その		上の刑に処せられ、そ	
く。)を犯し禁錮以上		く。)を犯し拘禁刑以	
(ハに規定する罪を除		(ハに規定する罪を除	
罪又は法に規定する罪		罪又は法に規定する罪	
二条から第六条までの		二条から第六条までの	
の処罰に関する法律第		の処罰に関する法律第	
人を死傷させる行為等		人を死傷させる行為等	
し自動車の運転により		し自動車の運転により	
ニ 自動車等の運転に関		ニ 自動車等の運転に関	
[イ〜ハ 同上]		[イ〜ハ 略]	
ないもの		ないもの	
、次のいずれにも該当し		、次のいずれにも該当し	
門的な知識を有する者で	導員)	門的な知識を有する者で	導員)
二 教育学、心理学等の専	(教習指	二 教育学、心理学等の専	 (教習指
一[同上]	職員講習	一 [略]	職員講習
する者	車教習所	する者	車教習所
次の各号のいずれかに該当	指定自動	次の各号のいずれかに該当	指定自動
[同上]	[同上]	[略]	略
[四·五 同上]		[四・五略]	
経過していない者		を経過していない者	

72	华	羽	声																				融	事	
習(七十	失効者講	習、特定	高齢者講	略」																	者)	(副管理	職員講習	車教習所	指定自動
三 次のいずれにも該当し	[一・二 略]	する者	次の各号のいずれにも該当	[略]	いない者	算して三年を経過して	がなくなった日から起	その執行を受けること	の執行を終わり、又は	上の刑に処せられ、そ	く。)を犯し拘禁刑以	(ロに規定する罪を除	罪又は法に規定する罪	二条から第六条までの	の処罰に関する法律第	人を死傷させる行為等	し自動車の運転により	ハ 自動車等の運転に関	[イ・ロ 略]	しないもの	で、次のいずれにも該当	及び実務経験が豊富な者	二 管理監督に関する知識	一	次のいずれかに該当する者
習(七十	失効者講	習、特定	高齢者講	[同上]																	者)	(副管理	職員講習	車教習所	指定自動
三次のい	•	する者	次の各号	同上	ない	して三年を経過	なく	の執行を受けることが	執行を終わり、	の刑に処せられ、	<.		罪又は	二条か	の	人を死傷させる行為等	し 自	ハ		しな	で、	及び実務経験が豊富な者	二 管理監督	一同	次のいず

く。)を犯し禁錮以上		く。)を犯し拘禁刑以	
(ロに規定する罪を除		(ロに規定する罪を除	
罪又は法に規定する罪		罪又は法に規定する罪	
二条から第六条まで		二条から第六条までの	
の処罰に関する法律第		の処罰に関する法律第	
人を死傷させる行為等		人を死傷させる行為等	
し自動車の運転によ		し自動車の運転により	
ハ 自動車等の運転に関		ハ 自動車等の運転に関	
[イ・ロ 同上]		[イ・ロ 略]	
しない者		ない者	
三 次のいずれにも該当		三 次のいずれにも該当し	
[一・二 同上]	羽白	[一•二 略]	習
**** する者	高齢者講	ずる者	高齢者講
次の各号のいずれにも該当	特定任意	一次の各号のいずれにも該当	特定任意
[四·五 同上]		[四・五 略]	
ない者		いない者	
して二年を経過して		算して二年を経過して	
なくなった日から起算		がなくなった日から起	
の執行を受けることが		その執行を受けること	
執行を終わり、又はそ		の執行を終わり、又は	
の刑に処せられ、その		上の刑に処せられ、そ	
く。)を犯し禁錮以上		く。)を犯し拘禁刑以	
(ロに規定する罪を除		(ロに規定する罪を除	
罪又は法に規定する罪		罪又は法に規定する罪	
二条から第六条まで		二条から第六条までの	
の処罰に関する法律第		の処罰に関する法律第	

	0	'表中の [ ]の記載は注記である。	備考
[同上] [同上]		[略] [略]	m/sz
[四・五 同上]		[四・五 略]	
ない者		いない者	
して三年を経過してい		算して三年を経過して	
なくなった日から起算		がなくなった日から起	
の執行を受けることが		その執行を受けること	
執行を終わり、又はそ		の執行を終わり、又は	
の刑に処せられ、その		上の刑に処せられ、そ	

附則

この規則は、令和七年六月一日から施行する。